

科目名称	小児理学療法学
授業コード	AD337
英語名称	Pediatric physical therapy
学期	2024年度前期
単位	1.0
担当教員	安齋 久美子
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	小児の正常発達の解剖学的・生理学的・心理学的特性について理解し、発達障害を生ずる原因と発達障害の成り立ちについて理解する。その上で小児の障害に対する整形外科的および神経生理学的な各種理学療法について、評価、理学療法プログラムの立案と具体的手法を理解する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	小児の専門病院にて臨床経験のある教員が、治療の実際と家族の支援を含めて教授する。
到達目標	カリキュラムポリシーに掲げる「基本的な理学療法の治療法や障がいに対する専門的な理学療法を学ぶ」ことを目的に、小児分野の障害と治療を理解する。 具体的には 脳性麻痺の発達にかかる理学療法が説明できる。 次の疾患についての発達にかかる理学療法について説明できる：二分脊椎、運動発達遅延、染色体異常、骨系統疾患、発達性協調運動障害、先天性神経筋疾患、早産児、重症心身障害児、中途障害児。
計画・内容	<p>1) 総論、発達理論と乳児の定型運動発達(1か月～8か月) 予習：授業前に教科書の該当部分を読み、不明な点をまとめておくこと(1時間) 復習：教科書やプリントを関連付けて自分の講義ノートを整理すること(2時間)</p> <p>2) 乳児の定型運動発達発達(9か月～12か月)とスクリーニング検査 予習：授業前に教科書の該当部分を読み、不明な点をまとめておくこと(1時間) 復習：教科書やプリントを関連付けて自分の講義ノートを整理すること(2時間)</p> <p>3) 姿勢反射と運動の発達 予習：授業前に教科書の該当部分を読み、不明な点をまとめておくこと(1時間) 復習：教科書やプリントを関連付けて自分の講義ノートを整理すること(2時間)</p> <p>4) 脳性麻痺 予習：授業前に教科書の該当部分を読み、不明な点をまとめておくこと(1時間) 復習：教科書やプリントを関連付けて自分の講義ノートを整理すること(2時間)</p> <p>5) 骨系統疾患(ペルテスほか)、二分脊椎 予習：授業前に教科書の該当部分を読み、不明な点をまとめておくこと(1時間) 復習：教科書やプリントを関連付けて自分の講義ノートを整理すること(2時間)</p> <p>6) 神経筋疾患(筋ジストロフィー) 予習：授業前に教科書の該当部分を読み、不明な点をまとめておくこと(1時間) 復習：教科書やプリントを関連付けて自分の講義ノートを整理すること(2時間)</p> <p>7) 染色体異常(ダウン症ほか)、運動発達遅滞、発達性協調運動障害 予習：授業前に教科書の該当部分を読み、不明な点をまとめておくこと(1時間) 復習：教科書やプリントを関連付けて自分の講義ノートを整理すること(2時間)</p>

計画・内容	8) ハイリスク児、重症心身障害児 予習：授業前に教科書の該当部分を読み、不明な点をまとめておくこと（1時間） 復習：教科書やプリントを関連付けて自分の講義ノートを整理事ること（2時間）
授業の進め方	基本的に講義中心で進める。
能動的な学びの実施	配布資料がワークシート形式になっており、講義を聞きながら資料を完成させていく。
授業時間外の学修	予習（1時間）について：各回とも予習は指定教科書の該当部分を読みノートにまとめる 復習（1時間）について：講義内容を予習ノートに上書きし、重要箇所を整理する
教科書・参考書	教科書：平賀 篤ほか編 「PT・OTビジュアルテキスト 小児理学療法学」 羊土社 参考書： 細田多穂監修 「シンプル理学療法学シリーズ 小児理学療法学テキスト 改定第三版」 南江堂 Nancie R. Finnie編著「脳性まひ児の家庭療育」医歯薬出版
成績評価方法と基準	定期試験により評価する（100%）
課題等に対するフィードバック	前回の授業内で実施した小テストを返却して、回答の解説をする。小テストは授業内容のなかで特に重要なポイントについての設問であるため、自分の知識を確認する振り返り作業に役立てることができる。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	Zoomによるオンライン授業を行う。 定期試験により評価する（100%）